

遺跡紹介① 坂本城跡

坂本城とは

元亀^{げんき}2年(1571)、織田^{おだ}信長^{のぶなが}が比叡山^{ひえいざん}延暦寺^{えんりやくじ}を焼き討ちにした後、信長は明智^{あけち}光秀^{みつひで}に命じて坂本城を築城させました。坂本城は、近江南西部の滋賀郡を支配する拠点として重要視されていましたが、天正^{てんしょう}10年(1582)「本能寺の変」で信長が光秀に討たれ、光秀も滅ぼされた後焼失しました。一度は再建されて丹羽^{にわ}長秀^{ながひで}・浅野^{あさの}長吉^{ながよし}が城主をつとめました。天正14年(1586)頃に現在の浜大津の場所へ大津城が築城された際に廃城になりました。その後、坂本城は現在の東南寺^{とうなんじ}辺りにあったということしか記録に残っていない「幻の城」となったのです。

今年度の発掘調査

令和5年度(2023)の宅地造成に伴う発掘調査で、長さ30mにも及ぶ石垣と堀^{ほっ}や掘^{ほっ}たてばしら^{たてばしら}たてもの^{たてもの}・石組み井戸・方形石組み・溝が検出されました。出土した遺物は、



検出された石垣と堀

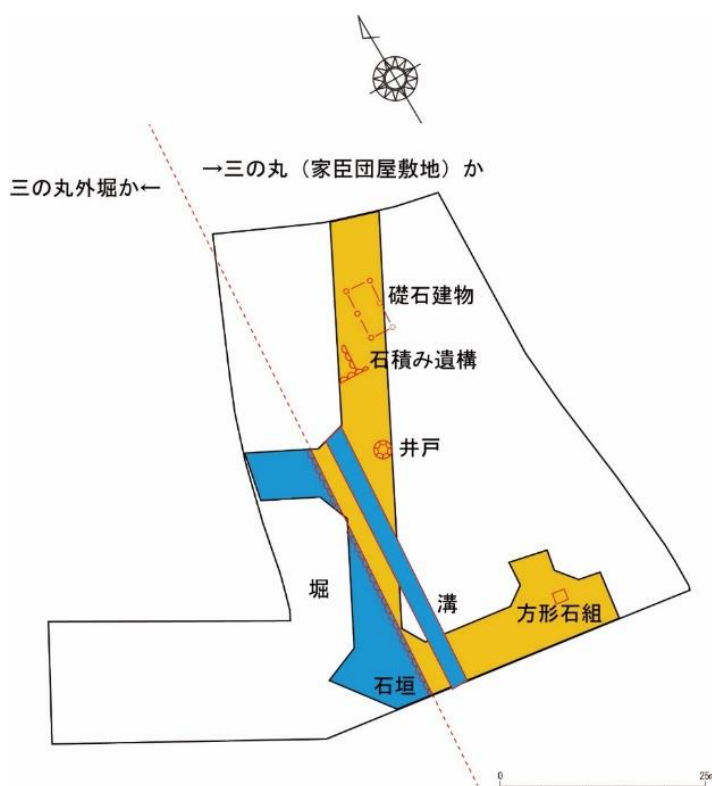
はじき
土師器・輸入陶磁器・国産陶器・瓦・木製品・漆器などでした。

これらの出土遺物は16世紀後半のものと考えられます。特に瓦は、昭和54年度(1979)本丸推定地での発掘調査のときに出土した

くろかわら あかがわら
黒瓦・赤瓦と同じものでした。そのことから、今回検出された遺構も本丸推定地と同時期のもの

と思われる。したがって、これらの遺構は坂本城の一部であり、瓦の出土量が本丸推定地に比べて少ないことから、瓦葺きの建物が少ない三の丸部分と推測されます。

今回の調査地で検出された石垣と堀が三の丸のものであるとすると、これまで想定されていた坂本城三の丸よりも100mほど琵琶湖側へ移動し、坂本城の範囲を特定する手がかりになると考えられます。



過去の発掘調査

昭和54年度(1979)の発掘調査において、炭が混入した焼土とともに、建物跡や井戸など坂本城本丸の跡と思われる遺構が見つかりました。また、屋根を葺いていたと思われる黒瓦と赤瓦が多数出土し、井戸の中から

りゅうとうがわら
龍頭瓦、ほかにも土師器・輸入陶磁器・国産陶器や茶

すりばち
の湯の椀、搦鉢などが出土しました。



本丸推定地から出土した軒丸瓦

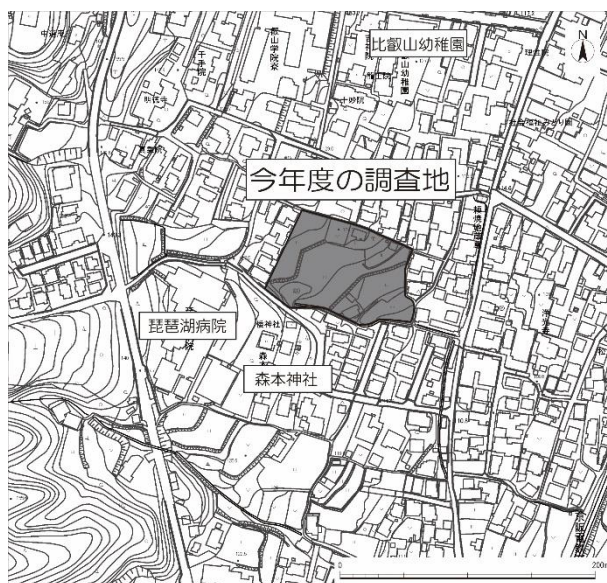
平成 30 年度(2018)と令和元年度(2019)に坂本城三の丸と思われる場所で発掘調査が行われ、多数の石組み遺構や井戸などの町の痕跡や、水晶の加工を行っていた工房跡が見つかりました。これらの遺構は、坂本城のあった時代よりも古く、15 世紀後半のものとみられます。この時点で、坂本城の範囲がそれまで考えられていたものとは異なる可能性が出てきていました。また調査区内で町の痕跡などの遺構が見つかったことで、坂本という地は坂本城が築城される前から多くの人たちが住み、栄えていたことが確認できました。

遺跡紹介② もりもとじんじゃしゅうへん 森本神社周辺遺跡

大津市坂本一丁目にある森本神社周辺遺跡は、やや傾斜のきつい地形にあります。森本神社は「やまと倭神社」の通称で、平安時代の法典「えんぎしき延喜式」の中で、官社を掲載している「しんめいちよう神名帳」にある「式内社」の候補地とされています。

平成 13 年度(2001)、隣接する琵琶湖病院の駐車場建設に伴う発掘調査が行われたときに、ちゆうけつぐん柱穴群や溝、カマドなどが見つかりました。また、弥生時代～鎌倉時代の遺物が出土しました。

令和 4～5 年度(2022～2023)にかけて、宅地造成に伴う発掘調査が行われました。調査区の南



森本神社周辺遺跡南部分(西から)

部分では、4回ほどの土石流の痕跡が検出され、その中には、弥生時代後期・古墳時代後期の土器類が混入していました。そこは、比叡山から琵琶湖へ流れる河川のある谷と尾根筋の場所にあたるため、当時の集落や古墳群が土石流によって削られた跡ではないかと考えられます。



森本神社周辺遺跡で出土した土器

また、調査区の北部分では石積み遺構が2基検出されました。そのうち1基は石垣のように東西方向へ一列に石が積まれたものでした。もう1基は方形石組みと



検出された方形石組み

いう、石を四角い形に積み上げたもので、周辺からは、江戸時代の陶器類が多数出土しました。森本神社周辺遺跡の北部分は、比叡山延暦寺の里坊(引退した僧侶の住居)が集まる「坂本里坊遺跡」と隣接しています。出土した遺物等から考えると、これら二つの石積み遺構は里坊と同じ時期のものと考えられます。そのことから、当時の地割や区画を想定する際に、重要なヒントになるといえるでしょう。



発行：大津市埋蔵文化財調査センター

〒520-0006
大津市滋賀里一丁目17-23
TEL：077（527）1170
FAX：077（527）1171

- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 土・日・祝祭日
年末年始(12月27日～1月5日)
- 入館料 無料(講座等は有料です)
- 交通 JR唐崎駅から徒歩20分
京阪電鉄石坂線滋賀里駅から徒歩5分

